

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の 実現に向けて

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様にお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興と、被災された皆様が平穏な生活を取り戻されることを心から願っております。

1. はじめに

茨城県は、東京圏に近接するとともに、起伏に富んだ山々や長い海岸線、国内第2位の湖面積（約220km²）を有する霞ヶ浦など多彩で美しい自然があり、都市的な生活と自然の豊かさを享受できる恵まれた環境にあります。

また、ネモフィラの絶景が国内外から高い評価を受けている「国営ひたち海浜公園」や全長180kmのナショナルサイクルルート「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、多様で魅力あふれる観光資源も有しています。

近年、東京圏との近接性に加え、つくばエクスプレスや、北関東自動車道をはじめとする4本の高速道路、茨城港や鹿島港、茨城空港などの広域交通インフラの整備進展などが高く評価され、2023年の工場立地動向調査において、茨城県は、工場立地件数及び県外企業立地件数が全国第1位、工場立地面積も、風力発電などの電気事業を除くと実質的には全国第1位となり、なかでも、県外企業立地件数は7年連続第1位となるなど、全国に誇る実績を積み重ねております。

2. 変化や失敗を恐れず、積極果敢に挑戦

さて、先行きの不透明さが増す世界情勢、円安

の進行や長引く物価高騰に加え、急激な人口減少に起因する社会問題の顕在化など、私たちは今、将来を見通すことが困難な時代の転換点に立っています。

こうした時代の荒波を乗り越えるためには、「生産性」が高く豊かで経済力のある社会を構築し、「安心して暮らせる社会基盤」をしっかりと維持することが重要であると考えております。

このため、茨城県では「第2次茨城県総合計画」に基づき「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の4つのチャレンジを柱として、人口減少などに伴う様々な困難を乗り越えられる「新しい茨城」づくりに果敢に挑戦しております。

3. 「新しい茨城」へのチャレンジ

第1の「新しい豊かさ」へのチャレンジとして、高収益な産業構造への転換を目指し、成長分野の産業をはじめ、本社機能や研究施設にこだわって企業誘致に取り組んでいるほか、成長する海外の力を取り込むべく、農産物・加工食品の輸出や「ものづくり企業」の海外展開などの支援などに取り組んでおります。

第2の「新しい安心安全」へのチャレンジとして、近年、頻発化・激甚化する自然災害に対し、防災・減災対策を進め、令和元年東日本台風で被災した那珂川・久慈川の「緊急治水対策プロジェクト」や県内の一級及び二級水系における「流域治水プロジェクト」、橋梁や建築物など公共施設の耐震化、強靱な緊急輸送道路ネットワークの整備を行うとともに、能登半島地震で課題が浮き彫りとなった木造住宅の耐震診断や改修への支援、



茨城県知事 おおいがわ 大井川 かずひこ 和彦

補助制度の重点的な周知など、「災害・危機に強い県づくり」に取り組んでいるほか、医療提供体制の確保など、県民の命を守る生活基盤の充実に取り組んでおります。

第3の「新しい人財育成」へのチャレンジとして、中高一貫教育の充実をはじめ、興味関心事を探究・追究できる魅力ある教育環境の整備や、外国人児童生徒への日本語教育の充実を図っているほか、少子化対策としてAIマッチングシステムの導入による結婚支援などにも取り組んでおります。

第4の「新しい夢・希望」へのチャレンジとして、民間企業の発想を活かして「日本初の泊まれる体験型植物園」をコンセプトに県植物園のリニューアルを予定するなど地域の魅力向上に取り組むほか、更なる企業立地の促進や広域的な交流の拡大などを目指し、首都圏中央連絡自動車道の4車線化などにも取り組んでおります。

4. 建設技術講習会現場研修 ～霞ヶ浦における水質浄化～

この度、本年10月に、茨城県において一般社団法人全日本建設技術協会による「上水道行政の課題・下水道行政の課題」をテーマに建設技術講習会が開催される運びとなり、現場研修では「霞ヶ浦導水事業」や「霞ヶ浦浄化センターにおける高度処理技術」等をご覧いただくことになりました。

霞ヶ浦は、本県のみならず首都圏の貴重な水資源として利用されておりますが、流域人口の増加や社会経済活動の進展に伴い昭和40年代後半から水質汚濁が進行したため、本県では、「霞ヶ浦

に係る湖沼水質保全計画」に基づく各種対策を進め、水質浄化を図り、豊かな水や美しい自然を次世代に引き継いでいく取組を進めております。



霞ヶ浦浄化センター（土浦市）

5. おわりに

秋の茨城県は、産出額日本一を誇る栗やさつまいもを堪能するのに絶好の季節となります。また、水戸市の「偕楽園」は、日本三名園のひとつに数えられ、萩の花などが楽しめますほか、10月からはJRと連携した観光キャンペーンである「茨城アフターデスティネーションキャンペーン」を実施しますので、本県の多彩な秋の味覚と魅力溢れる観光資源をご堪能ください。

皆様のお越しをお待ちしております。